

NON-LEAK PACKER

ノンリークパッカー

■ ノンリークパッカー荷姿



ノンリークパッカーはグラウトを漏らしません。
環境汚染対策が必要な工事に対応できます。

POINT

グラウトを漏らしません



- 伸びを抑えた細かな織目は水を通しますがセメント粒子は通しません。
- グラウトが漏出しなことから環境対策に対応できます。

確実な自由長部の造成



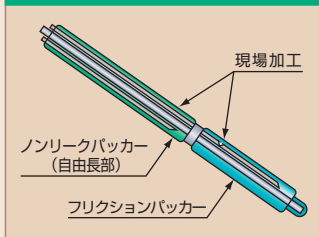
- 亀裂の多い自由長部にグラウトを確実に充填します
- アンカーの特長である自由長部を造成し、錆から tendon を守ります。

長尺の自由長にも適応



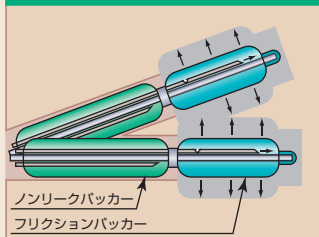
- シームレスで製作しているため長尺の自由長にも対応可能です。

容易な施工管理



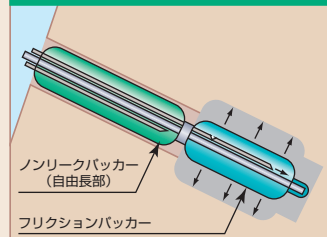
- シンプルな構造、少ない部材で組立加工が容易です。
- グラウト注入量、注入圧で施工管理を行います。

グラウトを漏出させない工事



- 上向き、水平アンカーにも適用できます。
- 各種アンカー工法に対応が可能です。

確実な自由長部を造成



- 加圧注入が拘束長の tendon とグラウトの付着を確実にします。
- ノンリークパッカーは長尺の自由長部にも確実にグラウトを注入します。

■ ノンリークパッカー 仕様

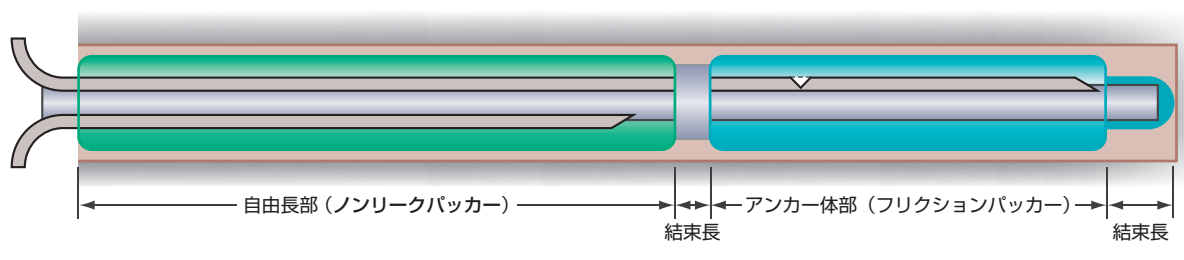
形状	筒状シームレス
材料	ポリエステル

■ ノンリークパッカー 種類

型式	織り巾	膨み径	適用削孔径
NP110	170mm	115mm	90システム (自然系110mm)
NP130	204mm	136mm	115システム (// 130mm)
NP150	235mm	155mm	135システム (// 150mm)
NP180	282mm	190mm	146/165システム (// 185mm)
NP200	314mm	215mm	165システム (// 200mm)

※膨らみ径は加圧注入0.2MPaでの参考値です。
※標準径以外のサイズの製作については御相談下さい。

亀裂の多い地盤にパッカーを使用する場合の適用例



注入方法

1 ノンリークパッカー内注入方法。(自由長部の場合)

下向きアンカーの場合、注入パイプは先端まで伸ばし、頭部側までグラウトが上がってくるのを確認します。上向きアンカーの場合には排気パイプが必要の場合があります。自由長部に使用したノンリークパッカーの注入管理は孔口でのパッカー充填により確認を行います。

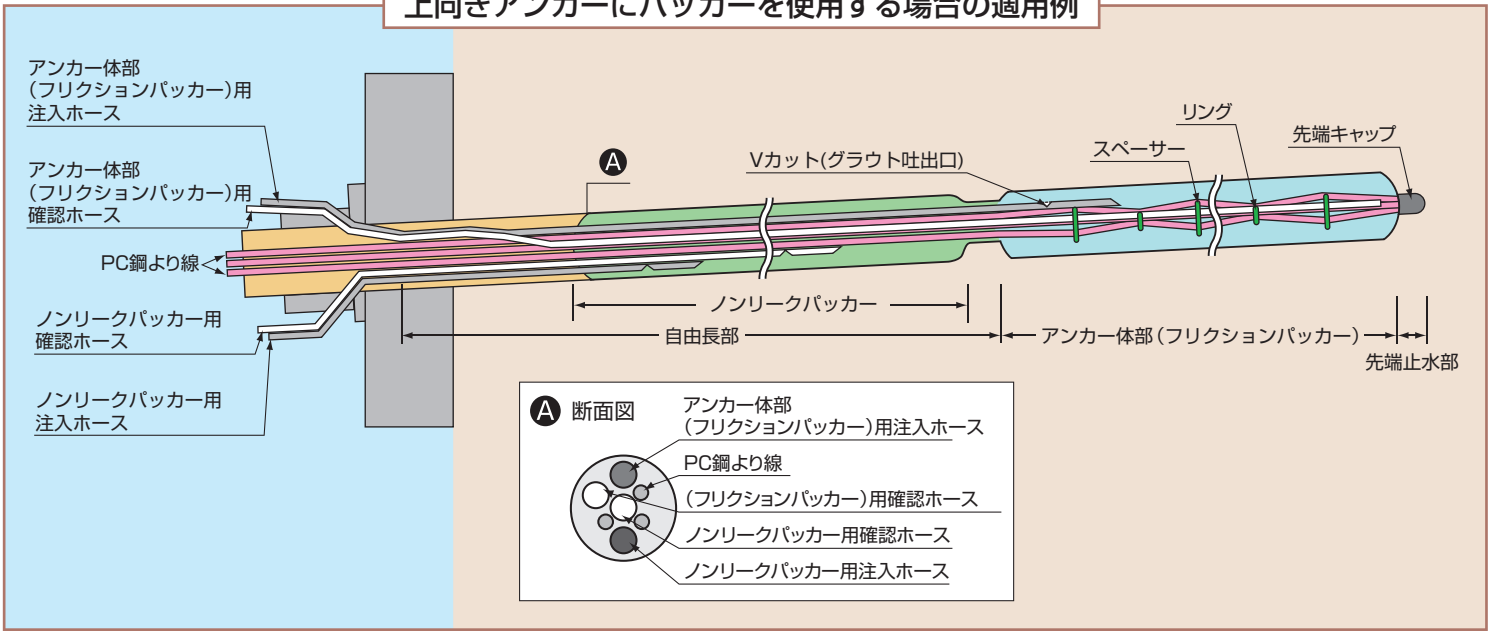
2 ノンリークパッカーのグラウト充填方法。

アンカー孔口に設置した圧力計を確認し、注入管理をします。初期グラウトは吐出量20~40ℓ/min程度で行い、グラウト圧力が0.2~0.3MPaに達したときに減速します。アンカー頭部(孔口)でのグラウト圧P=0.2~0.3MPaを標準としますが、地盤に応じて最大0.5MPaまで上げます。エア抜きパイプをつけた場合は新鮮なグラウトがエア抜きパイプから流出した時点で閉塞します。

3 注入量は膨み径容積の1.5~2倍程度です。

水セメント比は50%を標準配合としています。ノンリークパッカーは径の膨らみが少ないので注入量はビット径での計算値に近い量が充填されます。

上向きアンカーにパッカーを使用する場合の適用例



MIP 守谷鋼機株式会社

本社 〒103-0028
 東京都中央区八重洲1-5-8 鳥居ビル6階
 ☎03-3271-9901 ☎03-3271-9902
 第1工場 〒300-2661
 (つくば) 茨城県つくば市上河原崎7番地
 ☎029-847-5488 ☎029-847-5489
 第2工場 〒709-0805
 (岡山) 岡山県赤磐市二井87番地
 ☎086-955-2840 ☎086-955-2841
 ホームページ <http://www.moritani-kouki.co.jp/>